

ふれあいと対話が楽しく明るい社会 (第44回社会を明るくする運動統一標語)			
久が原地区管内	男	12,127人	
	女	12,048人	
	人口計	24,175人	
	世帯	10,201世帯	
平成6年6月1日現在			

くがはら

発行：わがまち大田久が原地区
推進委員会

編集委員：「くがはら」
編集委員会

事務局：大田区久が原特別出張所
〒146大田区久が原2-19-3
(3752) 4271



頑張るKJLC これからも育ちます

ジャングル体験コーナーの入口に並んだ子ども達の真剣な顔。じつとリタイアを見つめている。

も達の交流が一層深まってきた。これはゲーデンパーティのひとこまである。四十三回目を迎えたゲーデンパーティは、今年も各地区青少年対、各校PTA、その他諸団体、ジュニアリタイアCに集まってくるリタイアは、大人にはない魅力で子ども達を引きつける。ゲーデンパーティの半分は、ジュニアリタイアの力によるものである。そしてKJLC(久が原ジュニアリタイアC)が誕生して三年目。KJLCが中学生、そして高校生、中学生で構成され充実して来ている。

は輝いている。子ども達の目は、子ども達を励ましたり、一緒に走り回るリタイア。いろいろな工夫と工夫された遊びを通して、子ども達に遊びを

東調布消防団の「消防操法審査会」で わがまちを守る消防団第4、5、6分団 そろって表彰をうける

5月15日

五月十五日、東調布公園内道路で行われた東調布消防団の「消防操法審査会」で、久が原地区を受け持つ三つの分団がそろって表彰を受けました。



第6分団

「消防団員を募集しています」第十四名で、九つある分団の中では三番目に少ない分団になりました。

分団名	優勝	準優勝	第三位	受賞
第4分団	12回	1回	-	久が原東道々橋
第5分団	-	2回	7回	久が原南
第6分団	-	5回	-	久が原西上池上

準備優勝 第6分団 第5分団 三つの分団は数多くの表彰を受け、操法に優れた団員の多い分団です。昭和五十七年から十三年間の表彰歴は次のとおりで、誠に頼もしいかぎりです。

ついでに、地域防災のために大団してくださる方をお待ちしています。



第5分団

受賞おめでとう

な人達である。人との和を求める大変活動的目標を持ち、自分の力を知り、わかつた。特に年々指導力を身につけて来たリタイアの働きは、大人にはない魅力で子ども達を引きつける。ゲーデンパーティの半分は、ジュニアリタイアの力によるものである。そしてKJLC(久が原ジュニアリタイアC)が誕生して三年目。KJLCが中学生、そして高校生、中学生で構成され充実して来ている。

- ▽平成六年度自治会役員 永年在職者感謝状
- 平澤 啓至 (東自治会)
- 三木 昭江 (東自治会)
- 三木 榮任 (西自治会)
- 松田 マツ (西自治会)
- 関 正炳 (西自治会)
- 三部 正 (道々橋自治会)
- ▽平成六年度大田区交通安全功労者表彰
- 郡司 信行 (西自治会)
- 平澤 啓至 (東自治会)
- 崎田 昇 (道々橋自治会)

人事異動

- ▽四月一日付 ○大森第十中学校校長 (新)原田 順弘 (旧)榎本 和男
- 久原小学校PTA会長 (新)永野 幸夫 (旧)志田 晴彦
- 久が原特別出張所地域振興係長 (新)木村 茂 (旧)赤坂 正義
- ▽四月二十二日付 ○大森第十中学校PTA会長 (新)上野 義之 (旧)野口 金治
- ▽五月二十日付 ○久が原銀座商店街振興組合理事長 (新)遠藤 孝一 (旧)竹林 寛
- ▽六月五日付 ○久が原南自治会会長 (新)市川 雅一 (旧)秋元 正光

第2回きらら祭

「久が原福祉園祭」地域の自治会、町会、民生委員協議会等の方々と施設、保護者が一体となって実施し、施設を知ってもらい、共に楽しむ祭です。

期日 七月二十四日(日)
午後二時三十分
午後七時三十分

内容【第一部】
作品の展示、即売と作業体験(陶芸、木工等、織物、染色、紙すき)バザー、模擬店、アトラクション

【第二部】
盆踊り

会場および問合せ先
久が原福祉園
久が原一二十五
(五七四八)〇二五一

久が原 ライラック通り 1周年イベント

誕生祭

賑やかに開催

五月十四日、十五日の両日におたり、一周年を記念して、「ライラック通り久が原誕生祭」が催されました。ふれあい道路になり、歩きやすくなったり、利用者の方から好評をいただいております。



開し、多くの方々の協賛を得ました。
○対話ミニ集會
地域における皆さまと青少年の健全育成や、非行防止の健全な問題について話し合う集會を開いております。
なお、今年は「国際家族年」と国連が定め、変化する世界における家族の持つ意義の重きが問われております。家族は社会の基礎として問題に対処する重要さが、平和な日本にも社会的な問題となつてきております。

○七月一日 駅頭広報活動
午前八時より、JR大森駅、蒲田駅、京急蒲田駅、平和島駅、空港線各駅、東急雪が谷大塚駅で、パンフレット、ティッシュ等を配付しながらPRと協力を呼びかけました。
○七月八日 中央大会
区民プラザ（東急下丸子駅前）において、講演、PTAコンラス、中学生の意見発表など、多彩な催しを展

五月十四日、十五日の両日におたり、一周年を記念して、「ライラック通り久が原誕生祭」が催されました。ふれあい道路になり、歩きやすくなったり、利用者の方から好評をいただいております。

○七月八日 中央大会
区民プラザ（東急下丸子駅前）において、講演、PTAコンラス、中学生の意見発表など、多彩な催しを展

夏休みラジオ体操のお知らせ

今年も恒例のラジオ体操が実施されます。実施日と会場は次のとおりです。

- ・久原小学校 校庭
七月二十一日から二十日
- ・松仙小学校 校庭
七月二十二日から三十一日
- ・道々橋八幡神社境内
八月二十一日から二十八日

東京都少年団体リーダー研修会派遣

大森十中 小松千洋さん決定
東京都の少年団体リーダーの北海道派遣研修が今年も七月二十三日より二十九日まで六泊七日の日程で行われます。厳しい選考審査に合格した大森十中三年生小松千洋さんは、学校でも地域でも、快活で意欲的活動を続けているRJLC会員です。北海道での農村生活体験、現地中学生との交流を通し、一層のリーダー資質の向上と今後の地域での活躍が期待されます。
(新井信子)

夏の二夜を平和島で楽しもう 燃えるかがの火 わき起る歌声

心弾む、待ちに待った夏休み。子ども達は、あれこれと期待で胸がいっぱいのことです。子どももキャンプが、左記のとおり開催されます。キャンプ、フアィア、飯ごうすいさんなど盛りだくさんの内容です。「お子さん達のご参加をお待ちしております」
期日 八月二十七日(土) 二十八日(日)
場所 平和島Cキャンプ場
問合せ先 久が原特別出張所 (三七五二) 四二七一

久が原郷友会

思い出の記

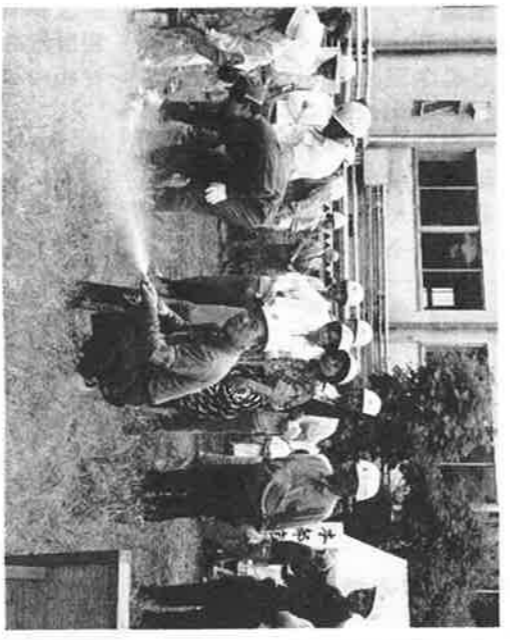


終戦後、占領軍の命令で、在郷軍人会は解散しました。久が原では、戦没者の慰霊と遺家族・戦傷病者の援護、そして会員相互の親睦等を目的に在郷軍人会が母体となつて「郷友会」が結成されました。郷友会は自治会や地域団体の協賛をいただいて、地域のあそびで慰霊祭を行つて来ましたが、来年は本光寺で行う予定です。その他二・三年ごとに親睦旅行を催して、久が原地域に住む者としての一体感を高めて来しました。

た。定められた現役期間を終えは男子だけの会ではありませぬし、もちろん老若も関係ありません。多くの方々に入会を近々お誘いしたいと考えています。よろしくお願いたします。
(会長 宮田篤二)

大東亜戦争が終わるまでのわが国には、「在郷軍人会」という団体がありました。戦前は、国民皆兵制度における兵役の義務があり、男子は満二十歳になると全員が徴兵検査を受けさせられました。そして現役に適すると認められた人は、陸・海軍に入隊し、軍人としての訓練を受けました。前記の目的からも、郷友会は男子だけの会ではありませぬし、もちろん老若も関係ありません。多くの方々に入会を近々お誘いしたいと考えています。よろしくお願いたします。
(会長 宮田篤二)

お知らせ
10/30
久が原地区防災訓練 第五回久が原まつり



久が原の町に住む人達が集まつて楽しむ久が原まつりも、今年で五回目になります。前回から、町の消防団、消防隊も加わつて、防災訓練とまつりを一日で行う、特別な形になりました。

真剣な表情で、消火訓練をする参加者

準備は着々と進行中です。

▽委員会からのお知らせ

ゴミの袋出しのルールが定まっています。これによるものごとの深く感謝いたします。都では、今回の袋出しの新しいルールの導入に当たつては、当分の間、可燃ゴミの排出用にレジ袋の使用を認めてきました。しかし、レジ袋が推奨されるよう、レジ袋の透明化と炭酸カルシウムの混入を要請してきました。

この結果、レジ袋の透明化はかなり進んできています。平成六年十月一日からは内容物が識別できないレジ袋(濃い色付きの袋など)の使用は、できないことといたしました。(ほとんどのレジ袋は乳白色ですが透明度があり、これまでどおり使用できます。)

都では、今後とも関係事業者へ都規格に適合する袋への切り替えを要請してまいります。
【問い合わせ先】
調布清掃事務所
電話 三七二一―七二二六

○編集後記
会を築こうと「社会を明るくする運動」が全国で展開されています。特に七月は強調月間とされておき、この機会に各地域でも催しや集會など、さまざまな活動が行われています。○情報紙「くがはら」では、地域発展のためにご尽力くださった方々の顕彰を逐次掲載し、ご披露しております。○この時期にあたり、さらに皆さまからのニュースをお待ちしています。(かわまた)